

薬剤を使用しないナラ枯れ被害防除法 (逸出抑制法)の施工について【山口県】

1 施工に必要な資材

- (1) 粘着資材
3cm×50cm／両面粘着／4mm角メッシュ（カモ井加工紙株）
- (2) ビニールシート（以下、シート）
耐候性や防滴性等を有する農業用POフィルム。本県では、スカイコート5（タキロンシーアイ株・厚さ0.13mm）を使用。
- (3) その他資材
PPロープ、ガンタッカー、ホチキス、テープ類等

2 事前調査

- (1) 目的
施工する被害木の選択及び必要な資材量の把握のため、被害木の事前調査を実施する。
- (2) 調査時期
カシノナガキクイムシ（以下、カシナガ）の発生が終了する頃から落葉前まで（山口県では10月中旬～11月上旬）
※秋が深まると落葉により枯死の判別がしにくいため、落葉前に調査を行う。
- (3) 調査内容
保護対象林分内で新たな発生した被害木について、①フラス量（小～中～大）（※1）、②生死の有無、③胸高直径、④根回り（※2）、⑤幹の形状（1本立ち、二又など）を確認する。
※1 フラス量は、次の3区分により評価する。
小：少量 中：幹の片面 大：幹一周
※2 地表に出ている根は穿孔されていることが多く、また、シートとの隙間を作らないためにも被覆する必要があるため、根回りを計測する。
- (4) 施工する被害木
被害木のうち、フラス量が大であるものを主に選択する。
- (5) 必要な資材量
 - ・粘着資材の枚数：根回り（cm）÷60（cm）
 - ・シートの大きさ：幅2.0m×（根回りよりも長い長さ）

3 施工時期

- (1) 設置時期
事前調査翌年のカシナガ発生前（山口県では4月～5月上旬）
- (2) 回収時期
施工年のカシナガ発生終了後（山口県では10月中旬ごろ）

4 設置手順

(作業人数：3人 作業時間の目安：約18分/本)

- ① 対象木の周辺に生える下層植生を刈り払い、シートの被覆に支障となる範囲を整理する。
なお、幹に付着している苔は、取り除く必要はない。

- ② 周辺の整理とあわせて、対象木に立て掛ける枝等（長さ1m程度）を幹の太さにあわせて、10～15本用意する。



- ③ 枝は幹一周に立て掛けるので、事前に、本数が不足していないか、設置したときの高さが概ね揃っているかを確認する。傾斜がある場所では、高低差を考慮した高さの調整が必要となる。
(確認したら、一旦、取り除く。)

- ④ 粘着面に触れないように注意しながら、2人1組で粘着資材を剥離紙から剥ぎ取る。
剥離紙は剥ぎ取りながら、筒状に丸めるとゴミの量を抑えられる。



- ⑤ 粘着資材を横向きにして、幹の地際部にガンタッカーで固定する。
フラスが最も多く出ている面を一番はじめに覆ってから、幹一周に貼り付けていく。
粘着資材と粘着資材の継ぎ目は、多少の隙間ができて構わない。



- ⑥ 用意していた枝を立て掛け、PPロープで固定する。枝によって、これから被覆するシートと粘着資材との間に空間ができるかを確認する。



- ⑦ シートを広げ、シート表面(※)が外側になっていることを確認し、材にシートが付着しないように注意しながら幹に巻き付け筒状にする。
※シートには裏表があり、商品名が印刷された面が表面となる。



- ⑧ 巻きつけたシートの端同士は重ねて揃え、一緒に2回折り曲げた後、ホチキスを等間隔(10cm程度)に打ち、シート下部まで閉じる。



- ⑨ シート上部は、折り曲げてヒダを作ってすぼめ、PPロープで幹に固定する。
なるべく隙間を作らないために、ヒダは偏らないように、また、大きなヒダを作らないように配慮する。
シート上部の高さは、1.5m程度とするが、シート下部が地面に接しており、土をかぶせて埋まる程度の余分があるかを確認して、高さを調整する。



- ⑩ ⑨のPPロープの上から養生テープを幹に巻き付け、そこを起点にシートの上端部まで隙間なく、養生テープを巻き上げ、シートと幹をしっかりと密着させる。



- ⑪ 養生テープでシートが隠れたら、テープを布テープに取り換え、引き続き上に巻き付けていく。
テープ全体の巻き付けた幅が40 cm上になるようにする。

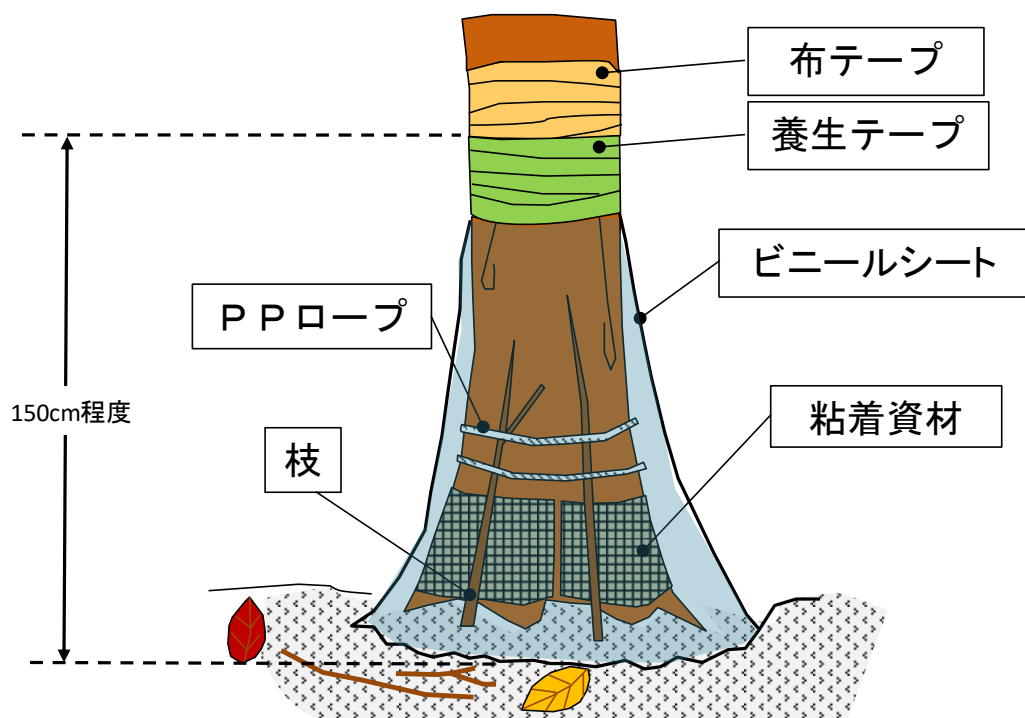


- ⑫ シート下部は、落葉や土で覆い、隙間を埋める。
斜面では、土が流れないように枝や倒木などを利用して土留めする。



- ⑬ 設置完了

5 設置イメージ



6 回収手順

(作業人数：2人 作業時間：約4分/本)

- ① シート上面に巻き付けた布テープや養生テープ、PPロープを取り除く。取り除く際に、刃物でシートまで切らないように注意する。



- ② ホチキスで留めたシートの両端を手で開く。シートは再利用するため、ホチキスの開け穴が大きくなりすぎないように、力まかせで開かないように注意する。

- ③ 立て掛けた枝を固定していたPPロープを取り、枝を取り払う。

- ④ 粘着資材を幹からはぎ取り回収する。

- ⑤ シートは運搬しやすいように折りたたむ。

- ⑥ 回収完了

